

令和元年度 教育改革推進プロジェクト 基礎的・汎用的能力育成の観点からみた キャリア教育プログラムの開発と実践

2020年3月3日

和歌山大学経済学部

本庄麻美子

本事業の概要

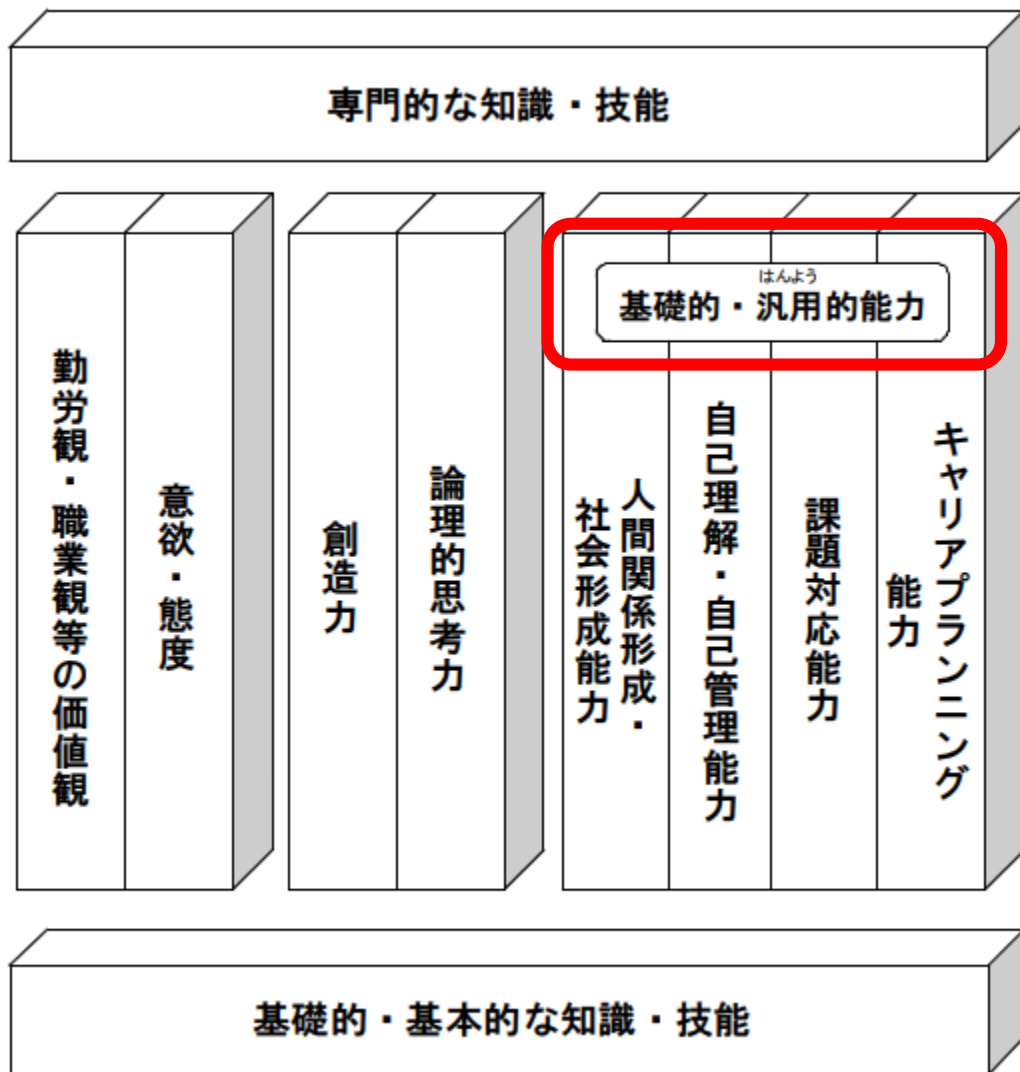
- ◇3年次生を対象に
基礎的・汎用的能力のアセスメント・テストを
実施し、3年間の伸長度を測定評価するとともに、
卒業後の進路を見据えたキャリア教育プログラムを
今後どのように設計・実施していくか、
キャリアセンターや**COC+推進室**の事業担当者などと
連携して検討する。

3年次対象にアセスメントテストを受験させ、
まずは現段階での学生の基礎的・汎用的能力
(ジェネリックスキル)を把握し、可視化する必要がある



本事業の概要

◇ 「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」の要素



出所：中央教育審議会（2011）「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（答申）



本事業の概要

Generic Skills

ジェネリックスキルとPROG



教養教育と専門教育にまたがる
広い意味でのキャリア教育体系
を構築し、
その教育効果を可視化する
試みが求められている。

出所：PROGテスト HP
http://www.riasec.co.jp/prog_hp/



本事業の概要

◇アセスメントテスト「PROG」とは

- 学校法人河合塾と株式会社リアセックが共同で開発したアセスメント
- **従来の自己評価に加え、客観的評価の指標を設け、基礎的・汎用的能力（ジェネリックスキル）を複合的に評価することが可能**
- 学生のジェネリックスキルを「リテラシー」と「コンピテンシー」の2側面から測定

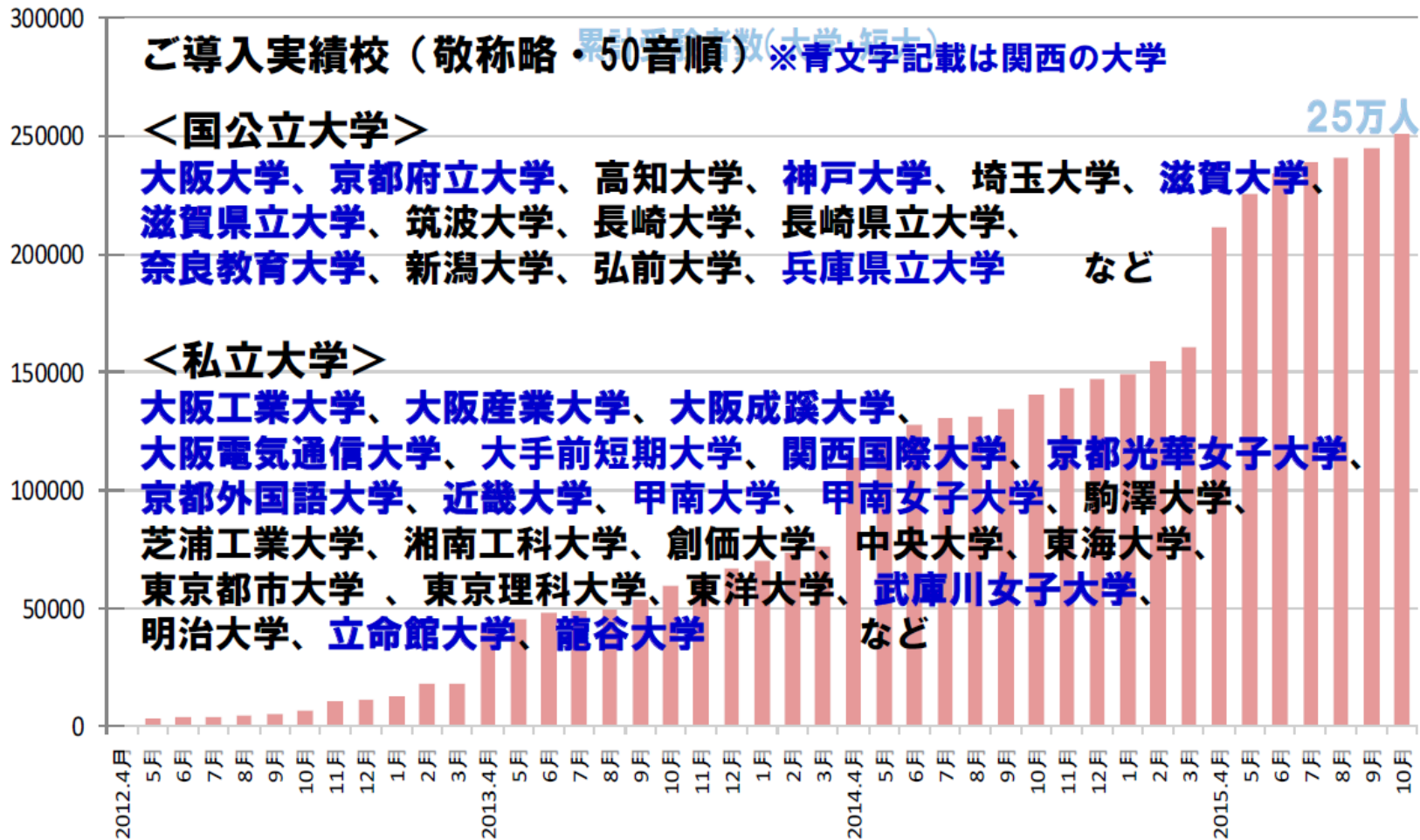
出所：PROGテスト HP
http://www.riasec.co.jp/prog_hp/



本事業の概要

2012年4月にスタートしたPROGテストは、大学教育における**基礎力の育成**や**学修成果の可視化**への注目を背景に、受験大学数・受験者数を伸ばしている

受験実績：約500校 約660,000人（2012年4月～2018年7月末時点 全国国公立大学 累計）



出所：PROGテスト資料から抜粋

中教審との関連性

○中教審の「質的転換答申」(H24.8.28)

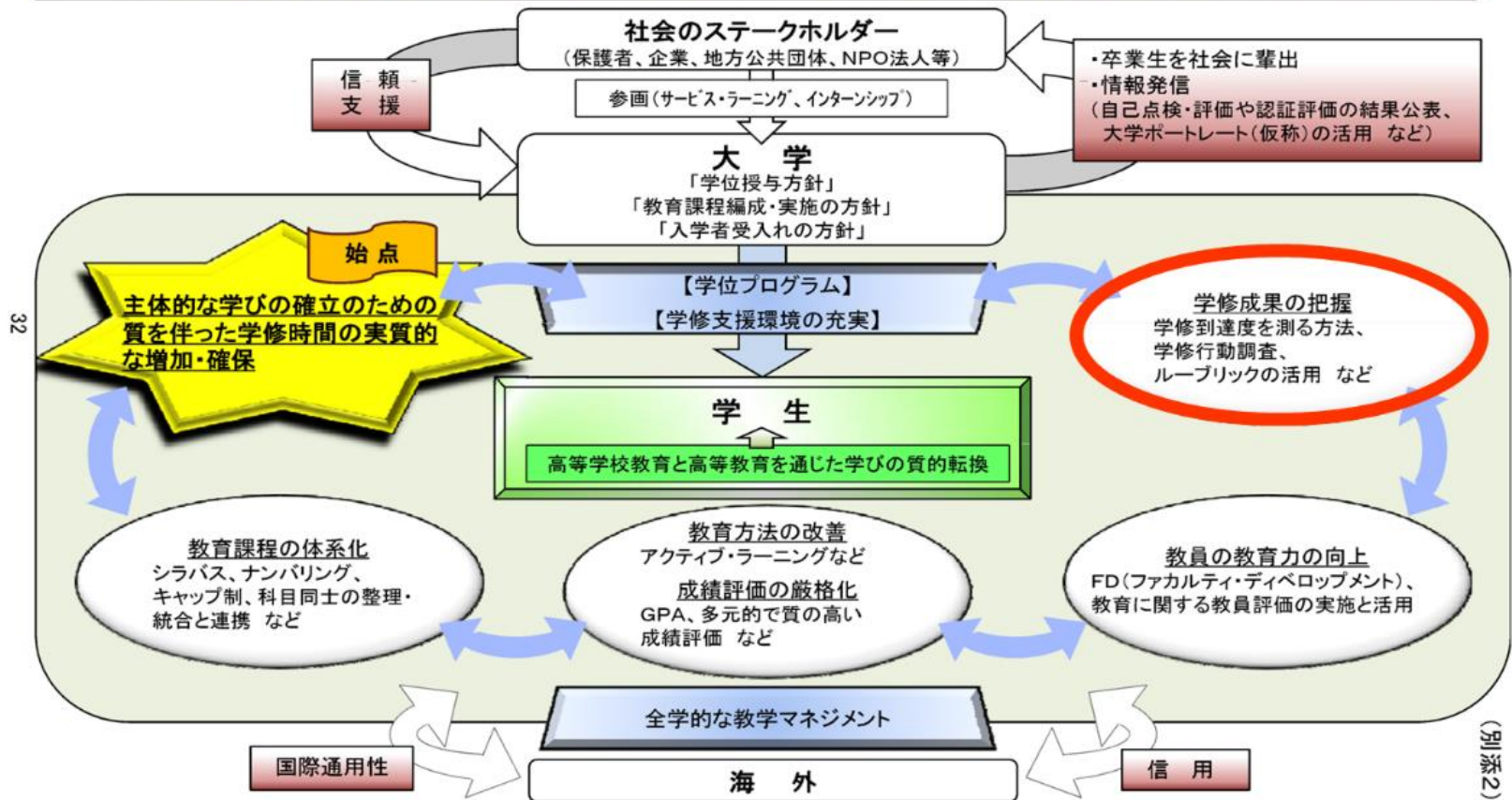
■ 文科省・中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」より (H24.8.28)

学士力、社会人基礎力 **学士課程教育の質的転換への好循環の確立**

(文部科学省)、(経済産業省)

・次代を生きる若者や学生に、生涯学び続ける力、主体的に考える力、未知の時代を切り拓く力を育成する、未来を形づくり、社会をリードする大学へ

・そのために、教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、知識の伝達・注入を中心とした授業から、主体的に問題を発見し解を見出していく能動的学修を中心とした、学生の主体的な学修を促す質の高い学士課程教育へと質的に転換



(別添2)

本学中期目標・中期計画等との関連性

○本学第三期中期目標

【教育】

2. 学生に卒業後の進路を意識させ、確実な専門性を身につけさせる教育体系により、自らの将来に目標と自信を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組む人材を育成する。

→体系的なキャリア教育の実施や、キャリア形成支援が重要

○本学第三期中期計画

3-①-2

課題発見・探求能力、実行力といった社会人基礎力を培うため、PBL（課題解決型学習）などを活用した能動的な学修を平成32年度までに学士課程における授業の5割に導入する。

→ただ導入するだけでなく、その成果を把握することも重要



プロジェクトの必要性

① キャリア教育効果の検証

学生の学修成果を把握し可視化

② FDへの活用

各種データを分析し、キャリア教育やわかやま未来学副専攻のプログラム改善に活用

③ 学生への支援

学生の成長や主体的な学び、キャリア形成を支援
履歴書・エントリーシートの作成指導等で活用



プロジェクトの新規性・発展性

◇新規性

- ・ 学生のジェネリックスキルを把握することは、今後の進路指導やキャリア教育に不可欠である。
 これまで実施できていなかった**出口データ**
（就職活動や就職内定，進学，その他のデータ）とを**組み合わせ、新たな分析**が可能となる
- ・ 経済学部単独でなく、**キャリアサポートチームのキャリア教育の取組**や**COC + 推進室のわかやま未来学副専攻**の教育効果とも比較できる

◇発展性

キャリア教育プログラムやキャリアガイダンスを今後どのように設計・実施していくかを検討することが可能

→現在大学が求められている「**教育の内部質保証**」の実現に向けた取り組み



今年度受験者の詳細

■ 第1回受験時期

2019年9月中旬～10月中旬

◇ 経済学部学生

経済学部3年生

196名

◇ COC+推進室 わかやま未来学副専攻

システム工学部3年生

1名

観光学部3年生

2名

■ 第2回受験時期

2020年2月下旬～3月中旬

◇ キャリアセンター

キャリアサポートチーム

経済学部2年生

2名

観光学部2年生

1名

ディプロマ・ポリシーで掲げている力と PROG測定要素

経済学部ディプロマ・ポリシー

和歌山大学のディプロマ・ポリシーに基づき、経済学部の教育目標を達成するうえで必要な、以下の条件を満たした者に対して卒業を認定し、学士（経済学）を授与します。

（リテラシー全般）

1. **幅広い教養**と高い倫理性を身につけている。
2. 経済学における基本的な学力を身につけている。
3. 卒業後の進路において必要な社会科学の専門的な学力を身につけている。 **（コンピテンシー・行動持続力）**
4. 社会におけるさまざまな経済活動に関する**問題の解決を図るために必要な主体性**を身につけている。
5. **社会のさまざまな関係主体と対話**しながら現実的問題の発見・解決を図るための、**対話能力**、創造力、**実践力**を身につけている。**（コンピテンシー・対人基礎力）** **（コンピテンシー・実践力）**